

17-TN-UM-eBike-EN-ES-FR-IT-KO-SOURCE-v04.indd 1



# sterne

TM



## ユーザーマニュアル E-BIKE (電動アシスト自転車)



## 内容

1. はじめに .....	3	16. サービスおよび保守スケジュール .....	33
2. 概説 .....	4	17. 保証 .....	36
3. 特定商取引法に基づく表示 .....	5		
4. 電動アシスト車に関する規則 .....	5		
5. 使用用途 .....	7		
6. 折りたたみ方に関して .....	7		
7. はじめてお乗りになる前に .....	8		
8. 乗車前点検 .....	13		
9. 安全運転 .....	16		
10. 貨物搭載時の注意点 .....	18		
11. 公共交通機関の利用 .....	20		
12. 電動アシスト自転車のABC .....	21		
13. 電動アシスト自転車の乗車注意点 .....	24		
14. サービス .....	27		
15. トルク設定 .....	31		

# 1. はじめに

## お客様へ

この度はアーバンモビリティと日常のトランスポーテーション（都市空間で最適な移動手段を追求）で業界をリードするTernをお選びいただきありがとうございます。私たちは、環境に配慮した移動手段として、車ではなく自転車に乗る機会を増やすことを考え製品開発を行なっております。

持続可能な移動手段の目標に専念し、携帯性と実用性を重視した都市交通に適した自転車の設計と製造を行っています。そして、地球環境と人々への恩返しとして、毎年少なくとも1%の純利益を社会的および環境的要因に寄付しています。

## 一般的な安全上の注意

### 乗車前の確認事項

この自転車は、電動アシスト車という特別に設計された自転車ですので、乗車前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。路上に出る前に、購入店にて扱い方の説明をしっかりと受け、また実際に乗車される前に安全な場所にて操作方法などを確認してください。

### 交通ルール厳守と周りへの配慮

路上を走行する際は、交通法に従い自動車や他の自転車・歩行人に配慮して走行してください。周りの車両からの衝突の可能性や、歩行者を傷つける可能性があります。常に周りに注意を払い他の道路利用者に配慮して走行してください。

### ヘルメットの着用

高品質で認定された自転車のヘルメットが、事故によるけがを防ぐことができます。乗車する際は、身を守るためにヘルメットを着用してください。

### メンテナンスの注意

修理や整備、調整などのメンテナンスは、購入された販売店もしくは自転車整備士により適切な整備と調整を受けてください。不明点は購入店にお問い合わせください。

### 導入の手引き

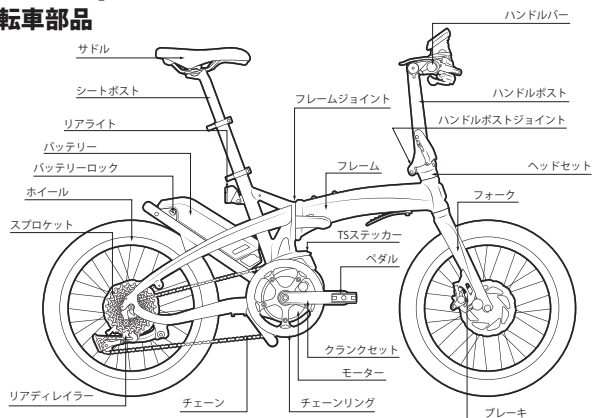
このマニュアルは、モーター、コントロールシステム、コンポーネント、折りたたみマニュアルなど、あなたのe-bikeに含まれている他のマニュアルと組み合わせて使用するためのものです。同梱されている他のマニュアルも必ずご確認ください。

## お問い合わせ

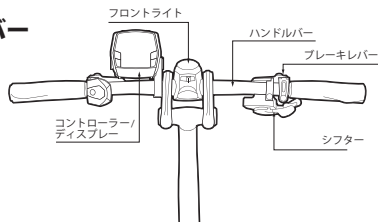
ご不明な点がございましたら、購入店もしくはお近くのTern正規販売代理店にお問い合わせください。

## 2. 概説

### 【VEKTRON S10】 自転車部品



#### ハンドルバー



#### アイコン説明



特別な注意が必要です。  
使用方法に注意しましょう。



誤った取り扱いをすると、  
装置が損傷する可能性があります。

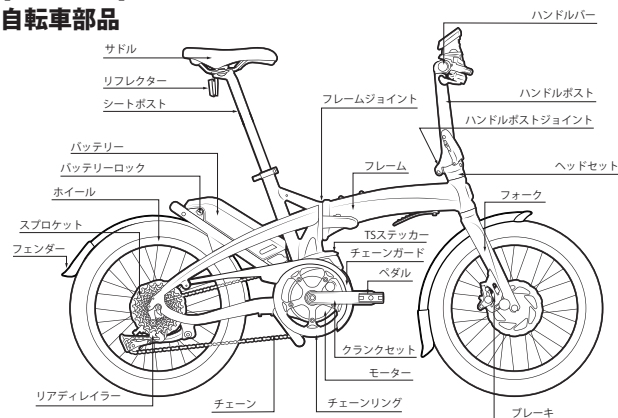


指示が守られていない場合や  
予防措置が講じられていない場合、  
思わぬ事故等につながるため  
特に注意が必要です。

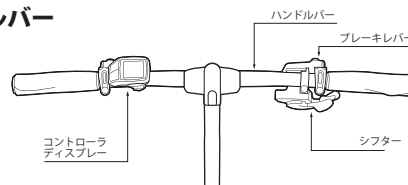


特定のトルクが必要なアイテム用のトルクレンチなど、適切な工具が必要です。  
不適切なトルクで締め付けた場合、部品の落下や破損につながり重大な事故や  
けがの原因となりますので、適正数値をお守りください。

### 【VEKTRON N8】 自転車部品



#### ハンドルバー



### 3. 特定商取引法に基づく表示

#### 製造元

Mobility Holdings Limited (Hong Kong), Taiwan Branch  
8F-8, Lane 609, Chongxin Road, Section 5, Sanchong District, New Taipei City, Taiwan  
Contact: service@ternbicycles.com / Website: www.ternbicycles.com

#### 輸入代理店

Tern社製品の日本国内販売は、株式会社アキボウが日本総代理店であり、唯一の輸入代理店となります。同社の保証書が同梱されていない商品は保証対象外となります。

株式会社 アキボウ 〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌鳥町5-758 お問い合わせ Mail : info@ternbicycles.jp

#### 製造番号等の表示

自転車には製造番号の刻印並びに、TSマークのステッカーなどが貼られています。

### 4. 電動アシスト車に関する規則

電動アシスト車には数種あり、使用者がペダルを踏み始動時にアシストを提供するモーター付きの自転車をPedelecと呼び、EPACs (Electrically Power Assisted Cycles) として知られています。使用者がペダリングを停止するとアシストが停止します。こちらの商品は、日本の電動アシスト付き自転車の規則を遵守し、アシスト力などが日本の基準通りに設定されています。

一般的に電動アシスト自転車は、電動スクーターやオートバイとは区別され、一般自転車とは別に製品上あらゆる特有の規定があります。しかし、基本的には従来の自転車の一部と言えます。走行する際も駐輪する際も、電動アシスト付き自転車は一般自転車と同様の交通規則を守り、周りに注意して走行してください。また、使用者は電気自転車を運転する際、運転免許証の所持や特別な登録などは必要としません。

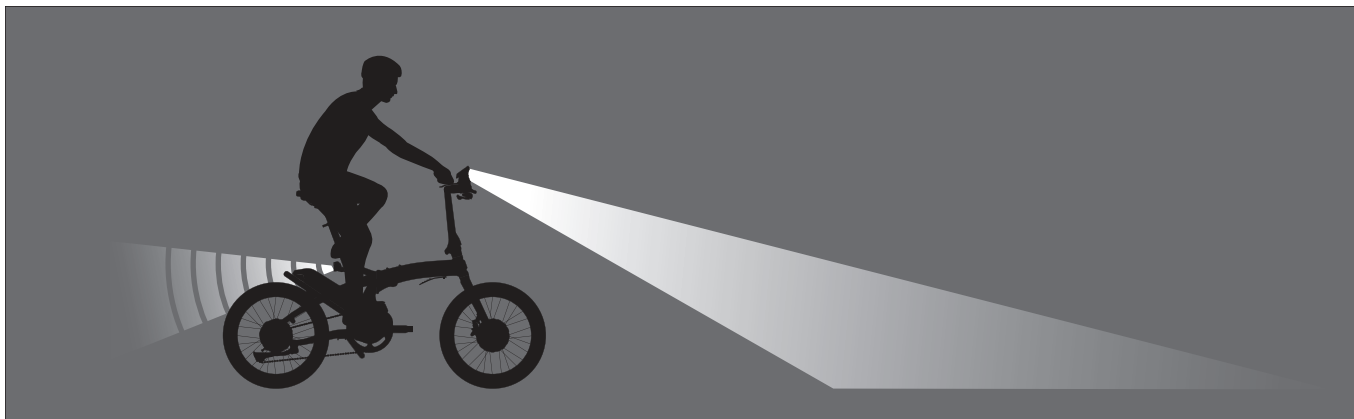


電動アシスト自転車の使用に適用される特定の法律、規則、およびガイドラインは国によって異なります。こちらの自転車は日本の法律に則り構成されています。また、日本の公道で乗車される場合は、必ず乗車前に日本における自転車関連の法律を理解してください。

こちらの商品は、国家公安委員会の型式認定を取得しております。フレームに型式認定済TSマークが貼られており、自転車が安全基準に合格していることを示しています。  
\*このマークには、交通傷害保険は付帯していません。

## 灯火義務

VEKTRON S10にはライトが装備されており、モーターから電気が供給され点灯します。無理な改造などは行わないでください。VEKTRON N8にはライトは装備されていません。



暗がりなどでは、いつも以上に注意深く走行してください。また夜間はライトを点灯させて走行してください。またリアライトは後者が目視できるように、路面から少なくとも25cm上に設置するようにしてください。灯火に関するルールは地域により異なる場合があるため交通ルールをご確認ください。

ライトはあくまでも補助の役割であるため、各種リフレクターは必ず正しく装着してください。詳しくは購入時に販売店にご確認ください。各ペダルには2個の黄色反射器が装着されております。

前後ホイールにもリフレクターの装着をお願いします。詳しくは購入した自転車店にご確認ください。

- スポークリフレクター
- タイヤサイドリフレクター

制動システムには、独立して機能するフロントブレーキとリアブレーキが必要です。

自転車は常に良い状態を保つように心がけてください。

## 5. 使用用途

### アクロバティック走行や悪路走行はお控えください



- Ternの自転車は、舗装された道路の上のみで地面に両輪を接触させて一人で乗る用途のために設計されています。レース、ジャンプ、ホップ、回転など危険な用途のものではありません。メーカーおよび販売店は、直接的または間接的損害について一切の責任を負いません。あなたの電動アシスト自転車が意図された使用方法に従って使用されない場合、保証は無効になります。



- 自転車を一般道路以外で使用し、ジャンプやスタントを行うとフレームに損傷を与え、大きな事故や思わぬ大怪我をもたらす可能性があります。

### 最大積載量に注意



- 最大積載量=使用者の体重+荷物重量
- 折りたたみ可能なTern電動アシスト自転車をお持ちの場合、メーカーとして最大積載量は105kg (230lbs) ですが、JIS規格の場合80kgとなります。ここに記載されている重量を超えることがないように注意してください。折りたたまないTern電動アシスト自転車をお持ちの場合は、最大積載量についてはTern正規販売代理店もしくは日本総代理店へお問い合わせください。



- 荷物を載せて運ぶ場合は、自転車が安定しており最大積載量内であることを確認してください。公共の道路で乗る前に安全な場所で自転車操作を練習してください。
- 適切な操作ができない場合、とっさの判断が出来ず事故や重大な怪我などにつながる可能性があります。



こちらのTSマークが入ったステッカーが車両に貼られています。ステッカーに関する説明は下記をご確認ください。

### 基準適合 TSマークについて

TSマークは、道路交通法の規定に適合し国家公安委員会の型式認定を取得した製品のみに表示されるもので、安心して自転車としてご利用いただける証明です。

\*このマークには、交通傷害保険は付帯していません。

## 6. 折りたたみ方に関して

別途付属の取扱説明書にて、折りたたみ方と展開の手順をご確認ください。

## 7. はじめてお乗りになる前に

### 乗車前に取扱説明書をご確認ください

この自転車は、電動アシスト車という特別に設計された自転車ですので、乗車前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。

路上に出る前に、購入店にて扱い方の説明をしっかりと受け、また実際に乗車される前に安全な場所にて操作方法などを確認してください。ご不明な点がございましたら、購入店もしくはお近くのTern正規販売代理店にお問い合わせください。

### 確認事項

#### 電動アシストシステム

- すべてのコントローラーボタンの機能とディスプレイの意味を良く理解していることを確認してください。
- 別紙の電動システムメーカーの取扱説明書を参照してください。

#### ホイールの確認

- タイヤの空気圧の確認をお願いします。タイヤの側面に表示されている最小値と最大値の範囲内にあることを確認してください。
- ホイールの回転が悪くなり異常を感じたり、ガタ付きを感じた場合は、即座に購入された販売店に持ち込み点検を受けるようお願いいたします。確認のため、両方のホイールを回転させ、ブレーキパッドに擦れていないことを確認してください。



走行時に違和感があるホイールは、スポークやタイヤに問題がある可能性がありますので、直ちに使用を中止してください。

#### ヘッドセットの確認

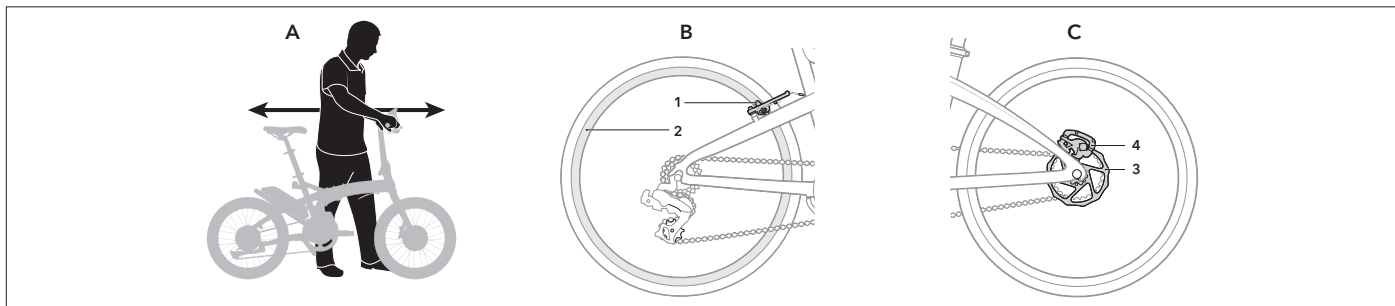
- 右図の様に前輪を両足でしっかりと挟み、ハンドルバーをねじってください。動きが発生した場合は、ハンドルバーを再調整しヘッドセットとハンドルポストの取り付け部を締め付けるなどの整備が必要です。そのままの状態では乗車は行わないでください。購入された販売店に持ち込み点検、整備を受けてください。
- 前輪を地面から持ち上げ左右に振り滑らかに動くか確認してください。ハンドルバーに引っ掛かりやざらつき感がある場合は、ヘッドセットが過度に締まっている可能性があります。購入された販売店に持ち込み点検、整備を受けてください。

足で前輪をしっかりと挟み、  
ハンドルバーをひねってください





## ブレーキの確認



- 自転車の横に立ってブレーキテストします。両方のブレーキを引き、自転車を前後に揺らしてください。(A) 車輪は回転してはならず、ブレーキパッドは所定の位置でブレーキがかかってなくてはいけません。車輪が回転するとブレーキが効いていないことになります。
- ブレーキをかけているにもかかわらず、自転車の前進または後退の動きやガタツキ、異音を感じた場合はヘッド部に問題がある可能性があります。購入された販売店に持ち込み点検、整備を受けてください。一部のディスクブレーキでは、バイクを前後にロックしようとする少しの遊びが感じられることがあります。これらは、熱膨張を考慮してブレーキパッドとブレーキキャリアの間に組み込まれたクリアランスによって発生しており正常な状態です。また、これらの症状はヘッドセットの緩みから起こっているものではありません。
- リム作動ブレーキ (B) 搭載の自転車の場合：リム (2) に合わせたブレーキパッド (1) が付いています。ブレーキパッドはリムに押し付けられて車輪を減速させますので、ブレーキパッドがリムと合っていることを確認してください。リムとパッドの摩耗をチェックしてください。
- ディスクブレーキ (C) 搭載の自転車の場合：ディスクローター (3) とディスクキャリア (4) があります。ディスクキャリア内部のパッドは、ディスクローターを強く押しつけてホイールを減速させますが、使用中は非常に熱くなります。乗った直後には触らないでください。
- どのレバーがフロントブレーキを操作し、どのレバーがリアブレーキを操作するかは、国によって異なります。イギリスや日本などの国では、左レバーがリアブレーキを操作し、右レバーがフロントブレーキを操作します。米国、ドイツ、その他ほとんどの国では、右レバーがリアブレーキを操作し、左レバーがフロントブレーキを操作します。



ホイールを交換するとき、またはディスクローターの位置が適切でないときにブレーキレバーを引っ張って、ディスクローターまたはディスクキャリアを傷つけないように注意してください。



必ずブレーキの制動力を確認してから走行してください。制動力があなたが慣れているものよりずっと強力な場合があります。あまりにも速くブレーキをかけると意図しない突然の停止につながり、クラッシュしたり追突されることがあります。

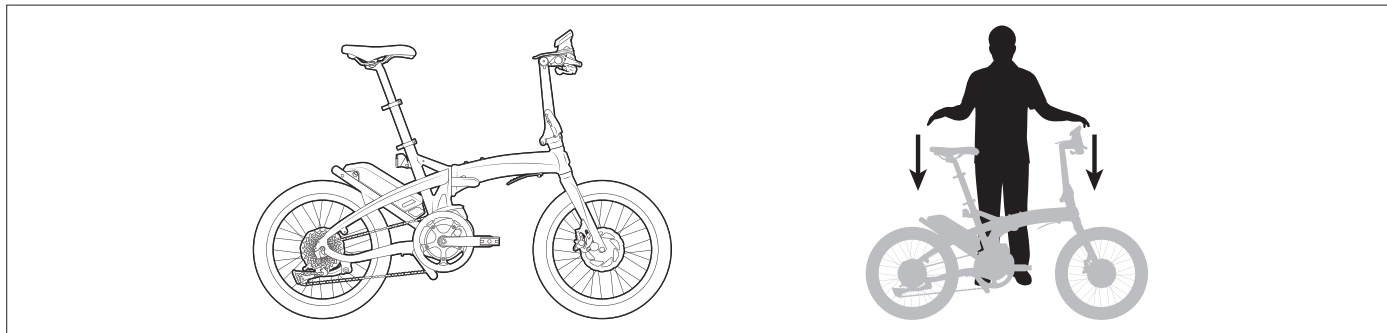
### ギアの確認

- 交通機関から離れた安全な場所で試乗し、シフター（変速機）の機能とアップシフトとダウンシフトを試してください。ギアの順番にスムーズに変速するか確認してください。外装変速機は、ペダルを回転させながら変速してください。ペダルを止めたまま変速するとチェーンが外れる原因となります。
- 内装変速ハブを使用している場合は、ペダルを止めて変速してください。移動しながらではなく、停止しているときにシフトすることができますので、ストップアンドゴーの多い都市部の移動で非常に優れた機能です。
- チェーンが適切にギアにつながっているのを確認し、チェーンがギアにつながり自由に回転することを確認してください。



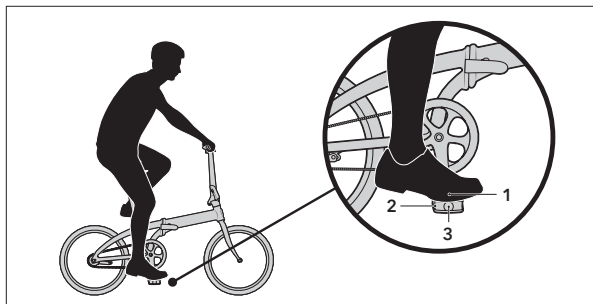
電動アシスト自転車は、ペダルを踏むとすぐに運転アシストが始まります。意図しない動きを避けるために、自転車に乗る前にブレーキを握ってください。

### 異音の確認



自転車を約10cm持ち上げて地面に落としてください。異音やフレーム安定性（特にフレームとハンドルポストジョイント）に関する問題が発生した場合は、購入した販売店に持ち込み点検を行なってください。

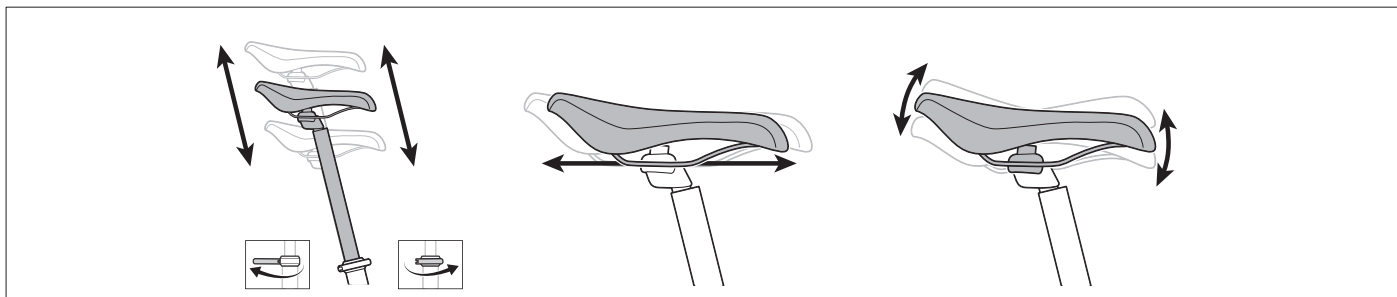
### 最適な乗車ポジション



適正身長範囲内でも、手足の長さなどは個人差がございます。体のどこにもストレスがかからない最適なポジションを設定してご乗車ください。無理なポジションで乗り続けると、背中や関節の痛みを引き起こし、操作性を低下させる可能性があり、反応が鈍くなる場合もございますのでご注意ください。スポーツバイクの最適なポジションは販売店にてご相談ください。

ペダルは、土踏まず(1)でペダルが回転しないように(2)ペダルの中心の真上(3)に足を置いてください。

### サドルの確認



- サドルの高さは、全体的な乗車位置の重要な要素です。スポーティーなポジションとしては、ペダルを一番下に回した時に膝がわずかに曲がっている程度が最適な高さとなります。高すぎると脚が伸びきってしまいますので高すぎないように調整してください。逆に低すぎると膝を痛める場合がございます。
- サドルは前後左右に動かしポジションや角度を調整することができます。不適切な位置のサドルは、神経、関節、および血管を傷つける可能性があります。



適切なサドルレールのトルク値については、15章を参照してください

- 乗るときは、ペダルが完全に下がったときに腰を固定し、膝は約20～25° だけ曲げるのが適切です。
- サドルは地面とほぼ平行でなければなりません。快適でない場合は、前部を下に傾けて股に圧力をかけるか、体重をサドルの広い範囲に分散させてください。シートは5° 以上傾けないでください。
- サドルを後ろに動かすと、あなたの不快感がさらに強くなり、前向きに四頭筋が働きます。一般的に、膝の前部はペダルスピンドルを通過すべきではありません。サドルの高さや角度など、必要に応じて調整してください。



シートポストには最小最大の印があります。その印を超えてセッティングしないでください。シートポストやフレームの故障や重大なけがの原因となります。下げすぎると、フレーム下部よりシートポストが突き抜けます。道路上の物体に当たって乗り心地を損なったり、引っかけたて転倒することあるため下げすぎないようにしてください。

### ステムの確認

アンドロスステムを装備しているS10モデルは、工具なしで角度と高さを調整できます。ステムの位置を調整する方法については、付属のマニュアルを参照してください。

### ハンドルバーの確認

ハンドルバーまでが遠い場合、左右に旋回すると一方の腕が突っ張ることもあります。またブレーキレバーに指がしっかりと届いているかも確認してください。

## 8. 乗車前点検

自転車にお乗りになる前に、必ず毎回下記について乗車前確認を行ってください。

### 電動アシストシステム

- バッテリーがフレームのキャリアに正しく装着され、完全に差し込まれていることを確認してください。手で引っ張っても外れないか確認してください。
- コントローラーのディスプレイに警告またはエラーメッセージがないかどうか確認してください。乗る前にエラーを解決してください。
- バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。
- フロントライトとリアライトのスイッチで正しく点灯するか確認してください。

### 消耗品の状態確認



すべての機械機器と同様に、自転車には摩耗と高いストレスが加わります。

さまざまな材料と構成部品が反応して、摩耗やストレス疲労の反応が起こる可能性があります。

コンポーネントの設計寿命を超えた場合、突然故障する可能性があり、使用者に怪我をさせる可能性があります。

高応力領域での亀裂、傷、着色の変化は、コンポーネントの寿命に達した場合適時に交換する必要があることを示します。

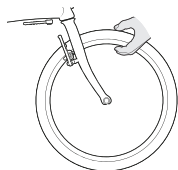
## ABC クイック落下テスト

安全のために、乗車前に各部の確認を行ってください。

**A**

### タイヤの空気

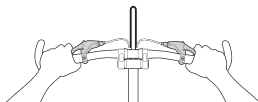
タイヤの空気圧を確認してください。  
親指でタイヤを押してください。  
へこまないくらいしっかりしている  
べきですが、過度に押すことは  
避けてください。



**B**

### ブレーキとレバー

レバーを握り、自転車が停止している  
ことを確認して、ブレーキを点検します。  
ブレーキケーブルが破損していないこと  
を確認してください。



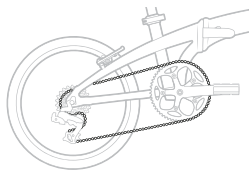
フロントバーを左右に動かすことで、  
バー（ハンドルバー、ハンドルポスト、  
ハンドルバーエクステンション）が  
しっかりと固定され、損傷していないこと  
を確認します。



**C**

### チェーンとケーブル

チェーンがギアを介して自由に回転する  
ことを確認し、ケーブルが損傷していな  
いことを確認します。

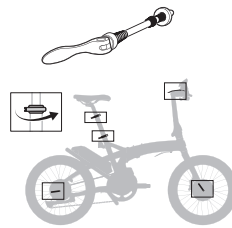


**クイック**

### クイックリリース

クイックリリース（ホイール、  
シートチューブ、ハンドルポスト）と  
ジョイント（フレーム、ハンドポスト）  
がしっかりと閉じられていることを  
確認してください

\* VEKTRON N8はシートポストは1箇所のみ



**落下**

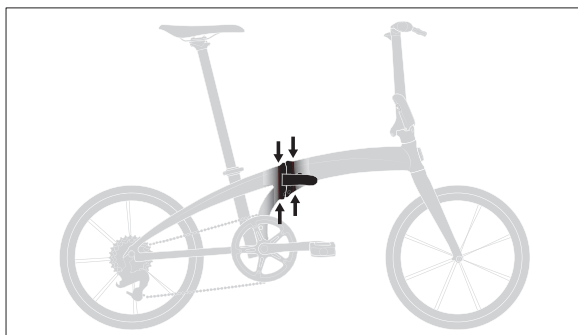
### 落下テスト

自転車を数センチ持ち上げて地面に落と  
してください。何かが揺れたりガタガタ  
したりする場合は、乗る前に調整して  
ください。



## 溶接部の確認

フレームジョイント周囲の溶接部分も確認してください。



フレームの溶接部に変形や亀裂の可能性がないか確認してください。  
自転車が転倒した場合や、衝突に巻き込まれた場合は特に重要です。アルミニウム部品は、いったん曲げても安全に元の場所に戻って曲がることができず、交換が必要になります。

## リムの確認

リムは汚れや損傷があってはなりません。変色、傷や擦り傷がないか見てください。リムブレーキを使用している場合は、接触面の穴や溝をチェックする必要があります。一部のリムには、ブレーキ接触面に摩耗インジケータがあります。リムが摩耗インジケータに磨耗したら、交換する必要があります。



摩耗や損傷のあるリムは突然破損などが起こる場合があります。使用者が衝突事故を起こす可能性があります。

## ホイールの確認

- ホイールがフォークの内側に固定されていることを確認してください。ホイールはハブ軸に沿ってスライドしてはいけません。
- スポークテンションを確認してください。手で握りスポークの張力差が著しい場合は、ホイールを確認してください。
- 自転車の両端を持ち上げ、ホイールをドロップアウトの開口部に向けて叩いてみて、ホイールがしっかりと固定されていることを確認します。  
ハブ軸は定位置にある必要があります。

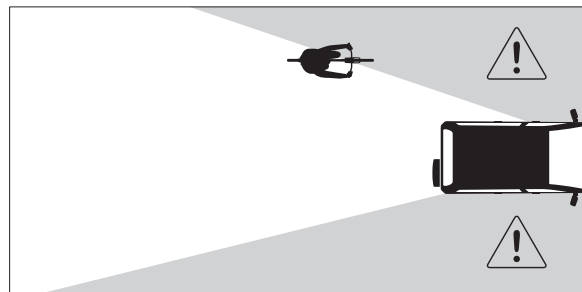
## サドルの確認

シートポストとサドルが確実に固定されていることを確認するために、サドルを手で回してみてください。シートポストまたはサドルには動きがないはずですが。

## 9. 安全運転

### 道路上から目を離さない

車のドアの開け方や子供の遊び、また道路にできた穴やその他の危険性をチェックしてください。あなた自身の視認性について考え、車の死角に入るのを避けてください。



### 居眠り運転

運転中は常に注意を払ってください。視力や聴力を妨げるサングラスやイヤフォン・ヘッドフォンを着用して運転しないでください。アルコールを飲んだり、運動能力に影響を与える薬物を投薬中の場合乗らないでください。

### 景色や夜間の暗がりに溶け込む服装は避けてください

夜間、夜明け、夕暮れ、雨天、霧などの低照度または低視界での運転は、昼間の照明条件よりもはるかに危険です。明るい色と光を反射する服装をしてください。

### 反射板の状態確認

反射板は清潔で、破損せず、正しく取り付けられている必要があります。反射板が衣類やカバンなどで覆われないようにしてください。また、一定の方向のみで光を反射するだけなので、視界を完全に確保するために照明が必要です。照明が適切に動作していることを確認してください。

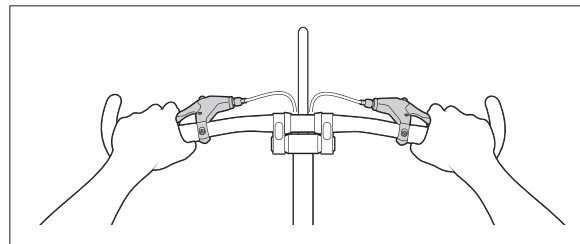
### ブレーキの使用

#### 状況により使い方を変えましょう

雨天や重い荷物の積載の場合には制動距離が増えますので、そのような状況ではブレーキをよりやさしく早めにかけてください。

#### 急ブレーキはしない

自転車の減速中または停止時の横滑りを防ぐためには、徐々にブレーキをかけます。横滑りは早く減速することができず、うまく操縦できなくなるので避けてください。





### ブレーキのかけ方

前ブレーキだけを使用しないでください。前方のみロックされると体ごと前方に投げ出されることがあります。ブレーキは、後ろブレーキをメインに両手で前後ブレーキをかけて減速し、後ろブレーキにて停車してください。

### 雨天時の走行

- 路面の状況や視界が悪い時は乗車をお控えください。また急いだりすると動作があいまいになり状況判断能力が低下しますので、余裕を持って走行してください。
- 通過中の使用者を驚かせないために、通過する意思を事前に示すためのベル、ホーンまたは声を使用してください。
- 危険物を回避したり追い越しをする場合以外は常に同じ車線を走行し、手信号等で周りに合図を行ってください。

## 10. 貨物積載時の注意点

乗車、運搬、または乗車と運搬両方の際の乗り心地は電動アシスト自転車の重量、バランス、重心、および取り扱いに影響します。安全のため以下のガイドラインをお読みください。

### 貨物を載せる時の注意点

フレームの構造剛性、個々のコンポーネントの強度、ステアリングの振れ、および重量配分を含む要因の組み合わせは、自転車の取り扱いに影響します。  
重い貨物で乗るとき、電動アシスト自転車はバランスを取るために多くの労力を必要とし、制動の時間は長くなります。

使用者の体重と使用者が快適にバランスをとって乗ることができる貨物の重量との間に密接な関係があります。  
実際には、貨物重量は使用者の体重の80%を超えないようにする必要があります。

公道で自転車を使用する前に、安全な場所で運転に慣れてから行ってください。



- 実用車をお持ちの場合は、使用者の体重と貨物の配分に関する特定のガイドラインについて、付属の実用車補足説明を参照してください。
- 使用者の体重、同乗者の体重、リアラックなど、その他の付属品を含む重量が最大積載量を超えないでください。

## 貨物を載せた運転

自転車の後部が貨物で満載されている場合は、前輪が持ち上がらないこと、転倒しないことを確認してください。

## 貨物の搭載位置

貨物の重心ができるだけ自転車の中心線に近づくように貨物を置き、ラックの前面にできるだけ近づけて貨物を固定してください。

荷重のバランスを取り、2つ以上の荷物は均等に分けて載せてください。片側のみ積載すると自転車が一方の側に傾いてしまいますので転倒につながります。

## 貨物の安全確保

貨物が、重量に応じたストラップで固定されていることを確認してください。

## 干渉の確認

- 適切な乗車をした場合に、ペダルやハンドル、ホイール、ブレーキなどに荷物が干渉しないか、自転車を操縦するのに十分なスペースがあることを確認してください。
- 貨物は、ブレーキおよびディレイラーの通常の操作に干渉してはいけません。
- 長尺物または大きな物は、かかとが当たることがあります。それを避けるために、ペダルから十分に離れた位置に配置する必要があります。
- バイクの正面にある背の高いものや大きなものが干渉して視界を妨げていないか確認してください。



上記のすべての条件を満たせない場合は、貨物を搭載して運転しないでください。

## 11. 公共交通機関の利用

### 公共交通機関

電動アシスト自転車は一般的に、従来の自転車と同様に鉄道や他の公共交通機関で持ち運ぶことができます。

特定の要件については、鉄道または公共交通機関に確認してください。

- 一部の機関では、事前にスペースを予約し、電動アシスト自転車に対しての別のチケットを購入する必要があります。
- 一部の機関では、電動アシスト自転車の持ち運びが混雑時以外に限定される場合もあります。
- 一部の機関では、電動アシスト自転車を輪行袋などで覆う必要があります。

### 飛行機での利用

- 電動アシスト自転車に使用されるバッテリーは潜在的に危険であると考えられ、飛行機での輸送はできません。
- バッテリーを別途運送できるかどうかについては、お近くの運送業者にお問い合わせください。

### 自動車での利用

- キャリアの最大積載量以下であれば、標準的な屋根または後部キャリアで輸送することができます。  
重量を減らすには、バッテリーを車体から取り外し、車両の中に置いて輸送ください
- ハッチバックを運転したり、十分なトランクスペースを確保している場合は、車内でTemを輸送することをお勧めします。  
ディレイラーを損傷しないように注意してください。
- 立体駐車場やガレージに入るときは、車の屋根にある車体に注意して、それが駐車場所の最大高より低いことを確認してください。

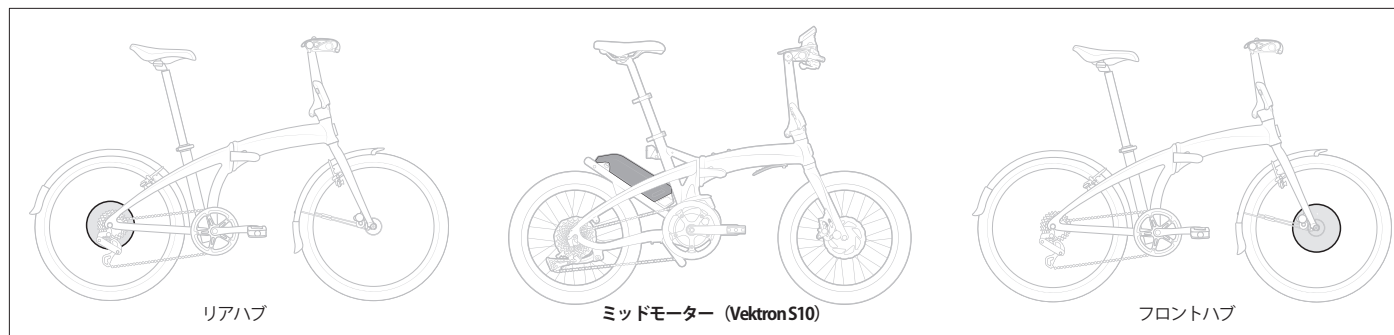
## 12. 電動アシスト自転車のABC

### コンセプト

ペダルアシスト電動自転車または電動アシスト自転車には、電動モーターが装備されており、自転車がペダルに踏み込まれているときアシストされます。アシストは、ペダルが回されたときを検出するように設計されたペダル動作センサーによって起動されます。日本では24km/hの速度制限が設定されています。アシストは指定された速度を越えると切断され、また改造や標準パーツと異なるものをつけるとエラーが発生します。

コントローラーでは、エコモードからターボモードまで4つの走行感を楽しめます。アシストoff機能もあり全5つのモードがあります。状況や道路の地形に合わせてパフォーマンスを調整できます。

あなたのTemはミッドドライブモーターまたはハブモーターを使用することがあります。以下の図を参照してください。



### その他の特徴

#### バッテリーロック

あなたのTem 電動アシスト自転車には、バッテリーロックが装備されています。使用後安全な場所に保管する前に、必ずバッテリーをロックしてください。鍵を紛失した場合は、Temの販売代理店に鍵回復サービスを依頼してください。

### 充電

あなたのTern 電動アシスト自転車には、あなたの国の電圧と互換性のある充電器が付属しています。詳細な使用方法および安全性情報については、モーター製造元の指示を参照してください。

### 複数バッテリー配置（一部のモデルのみ Vektron S10 / N8は対象外）

あなたの電動アシスト自転車が多数のバッテリーパックを使用できる場合は、以下の説明をお読みください。

### バッテリーを自転車に取り付けたままでの充電

両方のバッテリーが取り付けられている場合は、充電器を1つだけ使用して充電してください。電池は同時に充電されます。

充電器をモーターに隣接する充電ポートに接続します。リアポートは両方のポートを同時に使用しないように封印されています。

### バッテリーを自転車から取り外しての充電

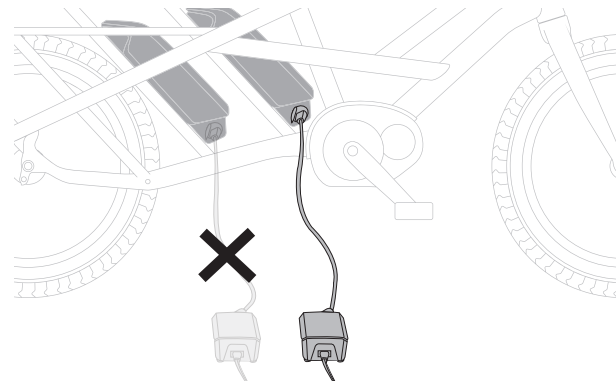
バッテリーは、自転車から取り外して個別に充電することができます。

### 端子のカバー

自転車本体にある充電端子は露出したままにせず、必ずカバーで閉じるようにしてください。

### 点灯

VEKTRON S10にはバッテリーを搭載したフロントライトとリアライトが付属しています。道路規制に従ってライトを使用してください。



## バッテリー

- あなたのTern 電動アシスト自転車にはリチウムイオン電池が装備されています。現代のリチウムイオン電池は、容量が減少するまでに500回以上の完全放電サイクルがあります。バッテリーはメモリ効果がありませんので、いつでもバッテリーを充電することができ、バッテリーが完全になくなるまで待ってから再度充電する必要はありません。自転車を1ヶ月以上使用しない場合は、保管前にバッテリーを約80%まで充電してください。長時間バッテリーを完全に放電させないで放置すると、バッテリーが完全に充電不能になることがあります。
- バッテリーメーカーのオリジナルチャージャーのみを使用してください。プラグをはめ込むことができても、他の充電器を使用しないでください。



バッテリーを地中に埋めたり焼却したりして廃棄しないでください。

- バッテリーの寿命が終わったら有害廃棄物として廃棄せねばなりません。家庭の通常のゴミ箱に廃棄しないでください。適切な処分に関するアドバイスについては、販売店にお問い合わせください。

## モーターシステムの改造や改ざん



どのような場合でもモーターシステムを改ざんすることは禁じられています。スロットルやその他のデバイスの速度制限や追加を変更するアフターマーケット機器やソフトウェアを使用した場合、自転車の保証が無効になり、エラーが発生し機能しなくなります。潜在的に重大な安全上の危険が生じ、違法とみなされる可能性があります。

## 追加情報

次の情報については、製造元の付属のマニュアル、または製造元のwebサイトにてご確認ください。

- 駆動とコントローラー操作
- バッテリーの正しい取扱い方法
- トラブルシューティング
- メンテナンス
- クリーニング

## 13. 電動アシスト自転車の乗車注意点

### 発進

コントローラーがオンのときは、ペダルを踏んだ直後にパワーアシストが適用されます。したがって、乗り始めはサドルに座った後、偶発的な動きを防ぐためにペダルに負荷をかけていないことを確認してから、コントローラーの電源を入れてください。最低レベルのアシストモードから始めましょう。

ペダルに力をかけた状態で電源を入れしないでください。正常に働かない場合があります。

### 適切なレベルのアシストモードの選択

トップギアのみでアシストして乗らないでください。従来の自転車と同じようにギアチェンジをし、あなたのライディングスタイルに合わせて適切にリズム良い変速を維持してください。そうすることで、電力でのアシストの効率を最大限に高めます。

アシスト機能の詳細などはボッシュwebサイトにてご確認ください。各部の特徴やマニュアルダウンロード、ビデオなどがございます。  
<http://www.bosch-ebike.jp/jp/index.html>

### パワーアシストを活用する

アシストがオンの時は、ペダルを踏むことでアシストされるため、踏む回数によって、どれだけモーターがサポートするかが決まります。すべての電動アシスト自転車にはペダルを止めるとすぐにアシストを停止する内部制御回路があります。これは、EN 15194 (EPAC - 電動パワーアシストサイクル) に準拠した内蔵の安全機能です。

電動アシスト自転車で曲がるときは、従来よりも早くペダルを止めてください。ペダルを漕ぎながら曲るとスピードが出過ぎて危険です。

またアシスト時は平均以上のスピードで走行する可能性が高くなるため、どのような状況にもすぐにブレーキがかけられるよう準備してください。

電動モーターは作動時はほぼ無音のため、歩行者やその他の自転車運転者はあなたの接近を音で気づくことができません。

運転は防衛的に明るい服を着て、あなたの走行意思を伝え必要に応じてベルを使ってください。



## パワーアシストなしで乗る

パワーアシストがオフになっている場合、Ternは従来の自転車のように、運転できるよう設計されています。

下り坂に行く場合、または航続距離を延ばしたい場合は、アシストをオフにすることができますが、速度はディスプレイに表示されます。

ただし、乗車中にバッテリーが空になると、照明はモーターバッテリーに接続されているため機能しません。リフレクターは必ず装着しておくをお願いします。

## バッテリーの寿命

走行可能距離は下記の要因により異なります。

### 平均走行速度

速く走行するほど電力が必要になり、バッテリーは早く消耗します。

ただし、最大アシスト速度よりも速く乗るとモーターアシストは完全に停止するため、モーターはバッテリーを消耗しません。

### 電力の節約

バッテリーの電力を節約する最善の方法はペダリングです。

より少ないアシストを使用し、ペダリングで主に走行すれば、バッテリーの電力消費を減少させ、結果としてより長い走行距離が得られます。

### 一般的なメンテナンス

タイヤの空気圧は適正に保ってください。可動部品を潤滑させ保守点検してください。

### ストップアンドゴー

停止から始動すると常により多くのエネルギーが必要になります。走行距離を延ばすには、エコモードから始動してください。

### 使用者の体重とペダリング

使用者の体重が重い場合、モーターはより多くのエネルギーを消費します。少なくとも60rpmのペダリングを維持するほうが効率的です。

### 道路状況（路面、地形、風）

舗装されていない道路（砂利、砂利）の道路、逆風、上り坂は、走行距離を減少させます。

### バッテリー容量

- バッテリーは、ワット/時で測定され、電力容量とは異なります。一般的に、ワット/時が長くなればなるほど、走行距離は長くなり、バッテリーは高価になり、自転車本体の重量は重くなります。
- 周囲温度がバッテリー容量に大きな影響を与える可能性があります。バッテリー容量は、23° C (73° F) の基準温度で検査されます。基準温度からの大きな差は、内部抵抗の変化によりバッテリーをより早く消耗させ、走行距離を短くします。直射日光の当たる場所に長時間放置すると寿命が短くなる恐れがあります。
- バッテリーが古くなると、容量自体が始めよりも減少します。これはすべての電池に当てはまります。バッテリーに残っている充電量は、コントロールディスプレイからいつでも確認できます。

## 14. サービス



Ternは、多くの高度な部品とコンポーネントで構成されています。多くの自転車の修理作業には、特別な知識と専用工具が必要です。自転車を適切に修理できない場合、調整や補修をしないでください。不適切な調整や修理は、自転車に損傷を与えたり思いもよらない怪我を負う可能性があります。サービスが必要な場合は販売店にご相談ください。

### 正規部品の使用

フレーム、フォーク、タイヤ、リム、ブレーキ、フロントライト、リアライト、キックスタンド、ハンドルバー、ハンドルポスト、ステム、ドライブユニット、バッテリー、コントロールユニット/ディスプレイなどの部品を交換するときは、正規部品またはTernが承認した代替品をお求めください。これらはTern 電動アシスト自転車に安全に動作するかテストされています。パーツや修理については、Tern取扱い販売店にお立ち寄りください。

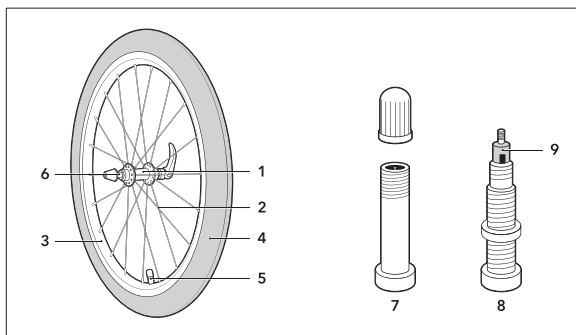


実行できる補修方法は、このマニュアルに記載されている以外の特別な道具や知識を必要としません。それらは以下の通りです：

### 注油

適切な潤滑剤を使用して自転車のメンテナンスと潤滑を忘れないでください。バイクに注油する時期と場所を販売店にご相談ください。

### 空気



- ホイールはハブ(1)、スポーク(2)、リム(3)、タイヤ(4)、バルブ(5)、心棒(6)で構成されています。
- バルブは、米式 (7) または仏式 (8) のタイプがあります。  
仏式バルブは、バルブキャップ (9) があり、取り付け前に緩める必要があります。
- 空気圧がタイヤのサイドウォールに示されている範囲内であることを確認します。
- タイヤに十分な踏み深さと穿孔がないかどうか確認してください。

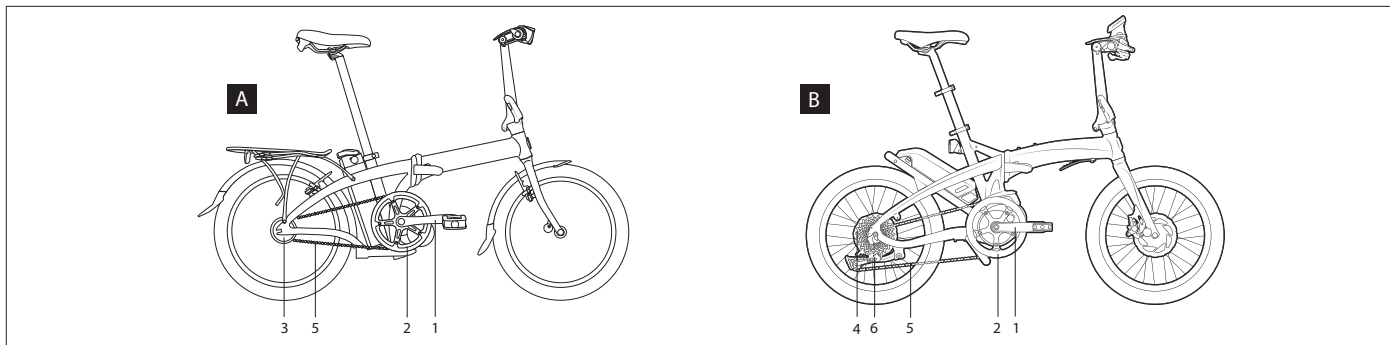
## ブレーキ

ブレーキが適切な停止力で作動していることを確認してください。固すぎたりゆるすぎたりしないように、購入店にて調整をお願いします。



適切に調整されていない、または摩耗したブレーキを使用して乗ると危険です。けがや死亡の原因になります。ブレーキの注意と操作については、ブレーキメーカーの指示を確認してください。ブレーキ面は清潔に保ち、油や潤滑剤は使用しないでください。摩耗したブレーキは正規の交換部品と交換してください。

## チェーン、クランク、ケーブル



自転車の駆動系には、内装 (A) または外装 (B) ハブがあります。ドライブトレインは、クランク (1)、チェーンリング (2)、リアスプロケット (3) またはカセット (4)、チェーン (5)、およびリアディレイラー (6) で構成されます。自転車のギアは1から上に向かって番号が付けられています。1は最も低速で緩いギアです。

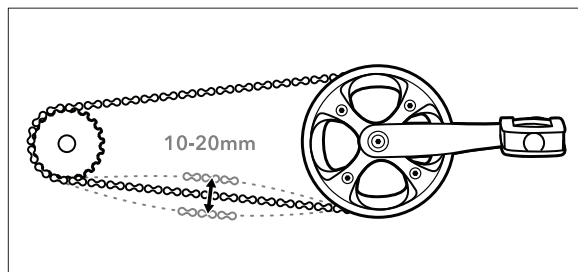
ローギアは上り坂で、トップギアは降りるために使用されます。安全な場所でシフトギアを練習することをお勧めします。

チェーンがチェーンリングと完全に接続されていることを確認するには、クランクを回し、隙間やねじれがないことを確認します。

乗る前に、すべてのギアをシフトし、チェーンとディレイラーが完全に機能していることを確認してください。ギアがスムーズに動かない場合は、販売店にご相談ください。リアディレイラーが故障している場合は、チェーンカウルまたはホイールが詰まって自転車の損傷や使用者の怪我を引き起こす可能性があるため、リアカセットのトップおよびローギアを使用しないでください。

すべてのシフトケーブルとハウジングに錆、よじれ、ほつれなどが点検してください。損傷している場合は交換する必要があります。

## チェーンの張り



チェーンはペダリングからの大きな負荷に耐えなければなりません。最適なシフトと効率のために、チェーンはギアと適切に接続されていなければなりません。

たるみが過度かどうかを確認するには、カセットのローギア（該当する場合）に移動して、チェーンに最大量のたるみを作ります。チェーンのたるみは1スパンあたり10～20 mm以内でなければなりません。

このたるみの量は、すべての内装ハブギアチェーンドライブに等しく適用されます。

注：ベルト駆動の張力はより複雑であり、販売店で調整を受ける必要があります。

過度のたるみは、磨耗し伸ばされたチェーンによって引き起こされる可能性があります。伸びたチェーンはギアに正しく乗りません。

時間が経つと、スプロケットの歯の間のすきまが大きくなり、チェーンの形状が見えてきます。摩耗したチェーンを交換することで、最も高価なカセットとチェーンリングの寿命を延ばすことができます。

内装ハブの場合、過剰なたるみは、脱落につながる後輪位置の誤調整に起因する可能性もあります。

チェーンのゆるみがチェーンの磨耗や車輪の調整によるものかどうか分からない場合は、自転車を販売店に持って行ってください。

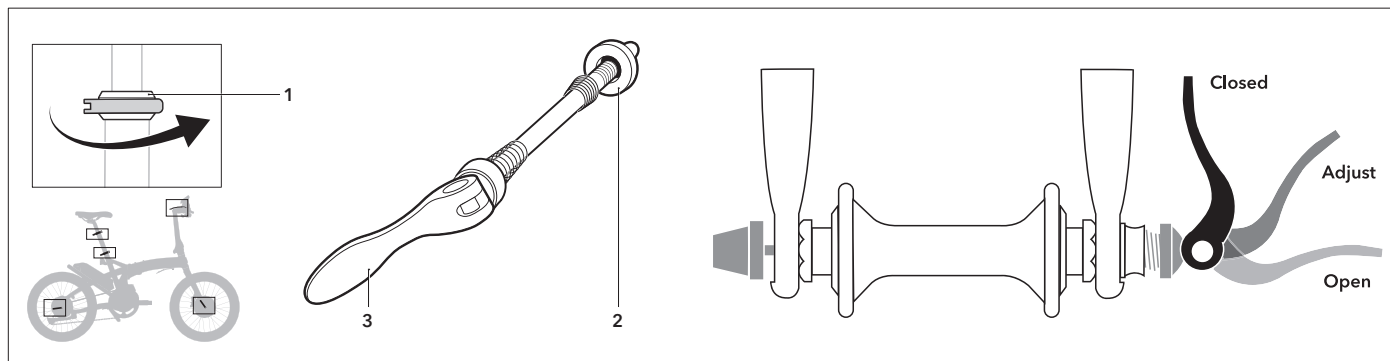
## クリーニング

クリーニングの必要があるとき、バケツに水を用意し、自転車についた汚れと塩分をスポンジで優しく洗い落とししてください。錆を防止するために、洗浄後に乾燥させてください。



水分が密閉された場所に押し込まれて自転車の損傷を与える可能性があるため、蒸気を使った高圧洗浄機を使用して自転車を洗浄しないでください。

## クイックリリース



クイックリリースでは、オーバーセンターカムアクションを使用してコンポーネントを所定の位置に固定し、簡単に工具なしで取り外すことができます。

クイックリリースには、クランプ (1)、調整ナット (2)、レバー (3) があります。凹面側は内側に向かって閉じています。

調整ナットで固定する力を調整できます。クイックリリースレバーを倒すことが出来る最大の固定力に手のひらを使ってセットしてください。

クイックリリースでは、ホイール、シートポスト、およびハンドルバーが所定の位置に保持されます。

ホイールを締め付けると、ホイールがフォークから外れてはいけません。また、真ん中にセットされなければなりません。

シートポストを締め付けると、シートポストが回転してはいけません。

ハンドルバーを締め付けると、ハンドルバーが回転してはいけません。

レバーが閉じているときは、走行中に誤って接触して開くことがないようにしてください。



クイックリリースは非常に便利ですが、誤操作のために多くの事故が発生します。不適切な調整は、自転車に損傷を与えたり、重大なけがや死亡の原因となる可能性のある事故につながる可能性があります。適切な強さで、しっかりと最後まで閉じられているか確認してからご乗車ください。

## クイックリリースと留め具



クイックリリースと車輪、ハンドルバー、シートポストを所定の位置に固定するための重要な調整ナットとボルトが適切に閉じられ、適切に締め付けられていることを確認してください。正しい締め付け力が必須です。力が小さすぎると固定がしっかりと保持されないことがあります。

大きな力で固定するとスレッドを剥がし、伸び、変形したり破損することがあります。いずれにしても、締め付けを誤ると部品が故障し、制御や事故が発生する可能性があります。正しいトルク値については、15項を参照してください。

確信が持てない場合は、販売店に連絡し、適切な方法を提示するよう依頼してください。



本書に具体的に記載されていない修理やメンテナンスは、すべて販売店で行ってください。

## 15. トルク設定

### 正しい締め付け強度で調整してください



トルク値は、ボルトを締めなければならない量の一般的な基準であり、以下にリストされています。トルク値が決められている場合、正しいトルク値を適用するためにトルクレンチを使用する必要があります。

### 推奨締め付け値 - トルク値

フレーム/フォーク			
コンポーネント	lbf.in	Newton Meters (Nm)	kgf.cm
キックスタンド台座ボルト	53-60	6-8	61-69
カーゴラック台座ボルト	25-35	2.8-4	29-40
ラックボルト	25-35	2.8-4	29-40
フェンダーボルト	50-60	5.6-6.8	58-69

ブレーキ			
コンポーネント	lbf.in	Newton Meters (Nm)	kgf.cm
ブレーキレバー (フラットバー)	53-60	6-6.8	61-69
ブレーキレバー (ドロップバー)	55-80	6.2-9	63-92
ディスクローター (M5ボルト)	18-35	2-4	21-40
キャリパーブレーキ台座	55-70	6.2-7.9	63-81

ホイール			
コンポーネント	lbf.in	Newton Meters (Nm)	kgf.cm
フリーハブボディー	305-434	34.5-49	352-499
カセットスプロケットロックリング	260-434	29.4-49	299-499
フロントアクセルナット	180	20.3	207
リアアクセルナット	260-390	29.4-44.1	299-449

駆動部分			
コンポーネント	lbf.in	Newton Meters (Nm)	kgf.cm
ペダル (クランク取付部)	307	34.7	353
クランクボルト	300-395	33.9-44.6	345-454
ボトムブラケット (エクスターナルシェル)	610-700	40-50	702-805
ボトムブラケット (カートリッジ/カップアンドコーン)	435-610	49.1-68.9	500-702

その他			
コンポーネント	lbf.in	Newton Meters (Nm)	kgf.cm
ステム	70-89	8-10	80-102
トップキャップボルト	35-53	4-6	41-62
ハンドルパークランプボルト	36-53	4-6	41-62
サドルレールクランプ	70-89	8-10	80-102

32 換算 : 1 Nm = 8.9 lbf.in = 10.2 kgf.cm



## 16. サービスおよびメンテナンス

### 事前点検

#### 慣らし運転

すべての自転車は通常慣らし運転期間が必要です。通常に使用する前に慣らし運転を行えば自転車は長持ちします。また、ご購入後1か月にケーブルやその他の主要部品の調整をされることをお勧めします。

#### 定期点検

あなたのTernは、正規のTernディーラーによる定期的な調整が必要です。下記の推奨する調整は、どのくらいの頻度で、どのような条件で使用しているかに基づいています。

#### 乗り方の種類 ※おおよその目安です。

##### 使用状況-S

調整頻度  
毎月

毎日25km（15マイル）以上の使用

すべての気象条件にて使用

凹凸のある道路での使用

使用者の体重を含め、  
自転車で80kg以下で使用  
（JIS規格に則る）

##### 使用状況-A

調整頻度  
隔月

1週間に3回または4回、  
週に平均100 km（62マイル）

雨天時にも使用

凹凸のある道路での使用

使用者の体重を含め、  
自転車で80kg以下で使用  
（JIS規格に則る）

##### 使用状況-B

調整頻度  
年に4回

1週間か2週間に1回の使用

晴天時か小雨時で使用

舗装された自転車道または  
一般の舗装道路で使用

使用者の体重を含め、  
自転車で80kg以下で使用  
（JIS規格に則る）

##### 使用状況-C

調整頻度  
年に1回

1か月か2か月に一回の使用

晴天時のみで使用

舗装された自転車道または  
舗装道路で常で使用

使用者の体重を含め、  
自転車で80kg以下で使用  
（JIS規格に則る）

## サービス記録

点検 1	点検 2	点検 3
購入後 1 か月または200km走行時		
日付	日付	日付
点検内容	点検内容	点検内容
交換・修理部品	交換・修理部品	交換・修理部品
販売店印 署名	販売店印 署名	販売店印 署名



点検 4	点検 5	点検 6
日付	日付	日付
点検内容	点検内容	点検内容
交換・修理部品	交換・修理部品	交換・修理部品
販売店印 署名	販売店印 署名	販売店印 署名



## 17. 保証

### Ternブランド保証規定

「ターンバイシクルズ」製品は、ターンブランドを運営するMobility（以下、ターンという）ならびに各国の輸入代理店が認定しているターン正規販売代理店(以下、正規販売店)でのみ取扱いすることが出来ます。これらの正規販売店はターンが認める整備技術とアフターメンテナンスをしっかりと行なうことができる販売店となります。これらに該当しない販売店や個人主からの購入は自己責任となり、一切の保証対象外となります。本保証は、正規販売店で購入された製品にのみ適用され、購入した国でのみ有効とされます。他国で販売されている製品の保証は購入国以外では適用されません。また株式会社アキボウ（以下、輸入代理店）が日本における輸入総代理店となり、同社を経由していない商品は全て並行輸入品となり、日本では保証の対象外となります。本保証は欠陥パーツの修理または交換に限定されます。輸入代理店が発行している保証書に記載されている最初の購入者にのみ適用され、本保証を譲渡することはできません。購入日より以下の条件に基づき、材質及び技術に対して保証を提供いたします。

**5年間保証：**フレーム、フォーク、ハンドルポストに適用されます。

**1年間保証：**その他のオリジナルパーツ(以下に挙げるTern 又はBioLogicブランドのパーツ及びコンポーネントを含む)に適用されます。

その他オリジナルパーツ又はコンポーネントは、同パーツ又はコンポーネントの製造元の保証対象となります。

### 10年延長保証

ternbicycles.comサイト内にあるTern Careにてユーザー登録を行うと、製品保証が5年から10年に延長されます。この保証は、フレーム、フォーク、ハンドルポストにのみ適用されます。電動ユニットやその他付属の部品等は対象外となります。この保証を受けるために、必ずオーナー登録サイトにて購入後30日以内にユーザー登録を行ってください。また、輸入代理店が発行する保証書も大切に保管ください。これらの登録や保証書が無い場合は、保証対象外となる場合がございます。ご不明な点がございましたら輸入代理店へお問い合わせください。

以下の箇所は10年保証の対象外となります。

- フレームとハンドルポストのラッチレバー部
- フレームの傷や塗装不良
- 通常使用による劣化など

本保証は、フレーム、ハンドルポスト、フォークなどの製品不良が必ずしも発生しない、という意味ではなく、不良が発生した場合の保証を意味します。万が一、不具合もしくはそれが疑われる場合は、最寄りもしくは購入された正規販売店へお問い合わせください。

### 所有者責任

所有者は適切なメンテナンスを定期的に行ってください。使用上の注意を守り正しくご乗車ください。使用頻度や気候及びその他の要因によりメンテナンス頻度が変わりますので、定期的な予防保全、屋内保管、潤滑油注入等を行ってください。乗車前に各部の点検を行ない、万が一不具合を発見された際は乗車を停止し、正規販売店にて点検を行ってください。製品不良であっても、定期点検であっても店舗への車両の持ち込みはオーナーの責任となります。

本保証への要請は必ず購入された店舗または最寄りの正規販売店を経由してください。保証要請の際は、必ず購入証明もしくは輸入代理店の保証書を提示してください。

所有者はまず販売店にて状態確認をしてもらい、適正な診断を受けてください。また、[ternbicycles.com/support](http://ternbicycles.com/support)にてビデオもご用意していますのでそちらも同時にご確認ください。

## 保証対象外

本保証は、以下の状況で発生したダメージ及び欠陥を保証するものではありません。

- 正しい使用をせず、不具合が生じた場合は保証対象外となります。それだけでなく、思わぬ不具合や事故を招くこともあるため、必ず使用上の注意をよく読みご使用ください。また、舗装されていない道路などでの通行による不具合も対象とはなりません。
- 各部の消耗品は保証対象外となります。各パーツは保管方法やメンテナンス状況、気候や路面状況などにより、消耗や劣化が早くなる場合がございます。
- 塗装の不具合や剥げなどは保証対象外となります。
- 正規販売店以外で購入された商品は保証対象外となります。ターン製品は、完全に組立整備をされた状態でお客様の手に届くようにしております。正規販売店以外で組み立てされた商品は保証対象外となります。
- 製品が火災や洪水等の天災や不測の破損、第三者の不正使用及び(又は)ターンが運営不可能の事態にさらされた場合は保証対象外となります。
- フレームやその他の装備されているオリジナルパーツ又はアクセサリー、モーターユニット、バッテリーなど全てにおいて改造された場合は保証の対象外となります。自己責任で行なってください。
- 転売したりまたは中古品を購入された場合は保証の対象外となります。保証は、最初の購入者から一切譲渡されません。
- 輸入代理店が認定していない販売店や個人の方が組立て、再組立、整備をされた場合は、保証対象外となります。

## 保証サポート

ターンは、保証期間内に発生した規定内の不具合の保証を行いません。

製品改良やデザイン変更等により、当時と同じもので交換が不可能な場合は、現行品のもので対応させていただきます。場合によりお客様負担となる場合がございますので、購入店舗へお問い合わせください。

また、この保証は予告無く変更される場合がございます。ご了承くださいませよう願いたします。

保証期間内は、どのモデルのフレーム、フォーク、ハンドルポストでも保証の対象となります。

本保証は、ターンにより保証されるもので、ターンの従業員、代理店または販売業者はターンに代わってその他の保証を提供する権限ではありません。

製造元による欠陥パーツの修理または交換に限定され、保証は唯一の救済となります。本保証は直接の購入者へのみ適用され、本保証を譲渡することはできません。

本保証は正規販売店で購入された車両ならびに付属品にのみ適用され、購入した国でのみ保証を受けることが出来ます。購入国以外や正規販売店以外から要請があった場合は、別途料金がかかると同時に、サービスパーツ及び情報入手に時間がかかる場合がございます。インターネット購入の際も同様です。

日本の正規輸入代理店経由以外のターン製品に関しては、日本では保証を受けることが出来ません。この場合はまず購入店へお問い合わせください。  
また、製品の購入、修理、メンテナンスなどは必ず正規販売店にて行ってください。これら以外での同様の作業は、全てお客様の責任にて行なうものとします。  
また、改造やカスタムなど、純正付属品以外のパーツに交換される場合も、全てお客様の責任において行なわれることとします。

ターンは、利益損失を含む偶発的又は間接的被害に責任を持ちません。本保証はここに提示される保証以外は対象外となります。本保証はターンのみが修正することが出来ます。

本保証の任意の内容が現地法律に合致しない場合はその部分を切り離し、合致する残りの部分の効力は継続されます。英語原文で上記に記載された意味に最も近い形、または現地法律により最小限となった形で解釈されます。本保証は消費者の法的権利に影響を及ぼさないものです。



